

6.8 人と自然との触れ合いの活動の場

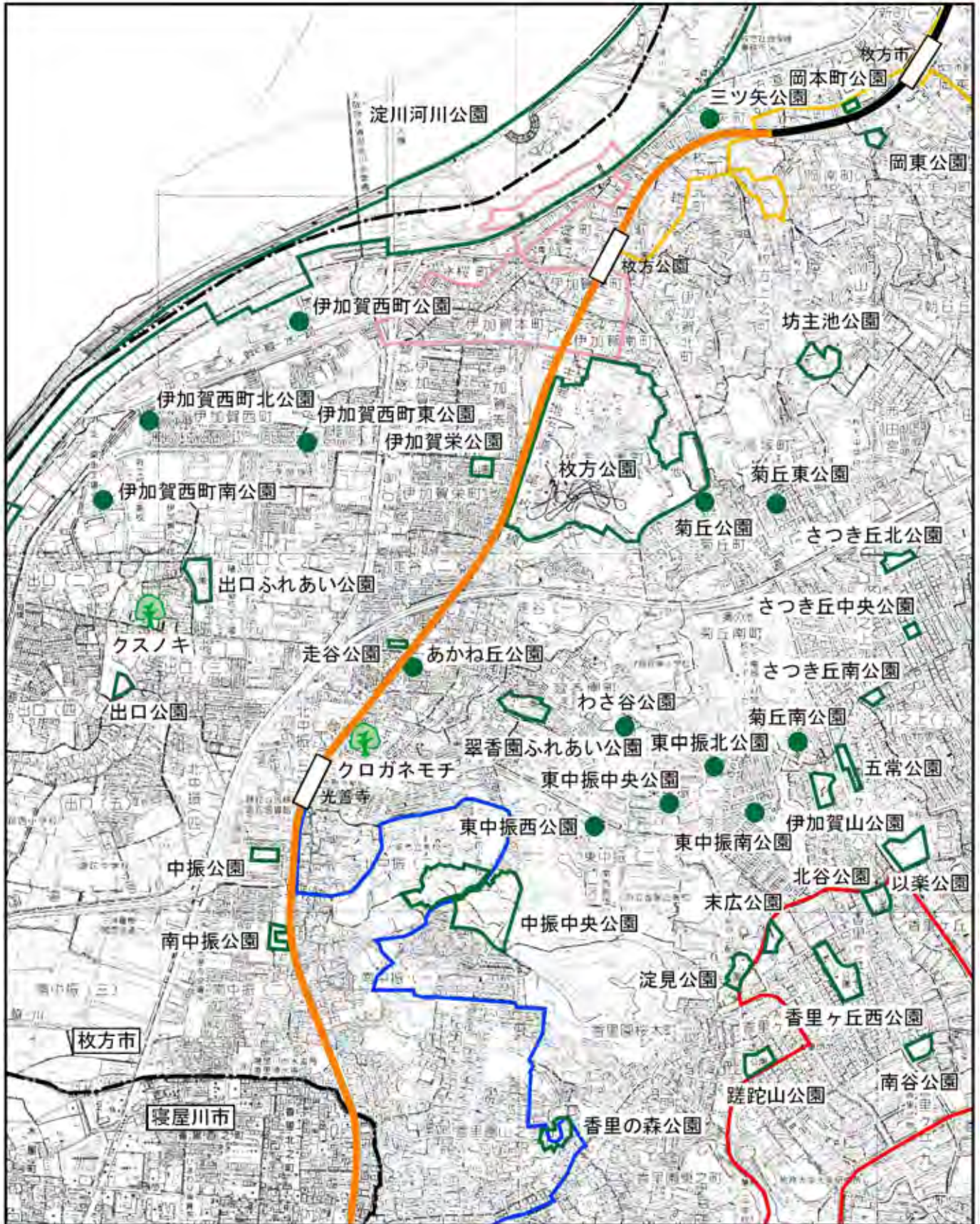
6.8.1 現況調査

事業による人と自然との触れ合いの活動の場への影響を把握するため、対象事業実施区域の周辺地域における人と自然との触れ合いの活動の場の分布状況、事業により改変される場における利用環境及び改変の程度を既存資料調査により把握した。また、改変される場については現地踏査により、利用状況を確認した。

(1) 場の分布状況

対象事業実施区域の周辺地域における人と自然との触れ合いの活動の場（公園緑地、保存樹林、散策コース）の分布状況は、図 6.8.1～図 6.8.3 に示すとおりである。

対象事業実施区域の周辺地域では、枚方市域の走谷公園及び南中振公園、寝屋川市域の香里北さざんか公園及び田井西公園の 4 公園が対象事業実施区域に隣接している。また、散策ルートでは、枚方市の枚方公園周辺コースと枚方～万年寺山コース、寝屋川市の水路めぐりコースが交差している。



凡 例	
	都市計画公園・緑地
	その他公園
	保存樹・保存樹林
	散策コース(枚方～万年寺山)
	散策コース(香里団地周辺)
	散策コース(光善寺～香里の森)
	対象事業実施区域
	散策コース(枚方公園周辺)

資料：「枚方市都市計画図 用途地域図」（平成18年8月、枚方市）、平成22年版
 ひらかたの環境（環境白書）（枚方市）、「e-地図ひらかた」（枚方市
 ウェブサイト）、「ひらかた散策マップ」（枚方市）より作成

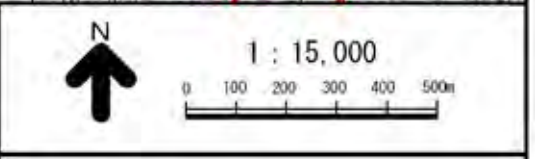
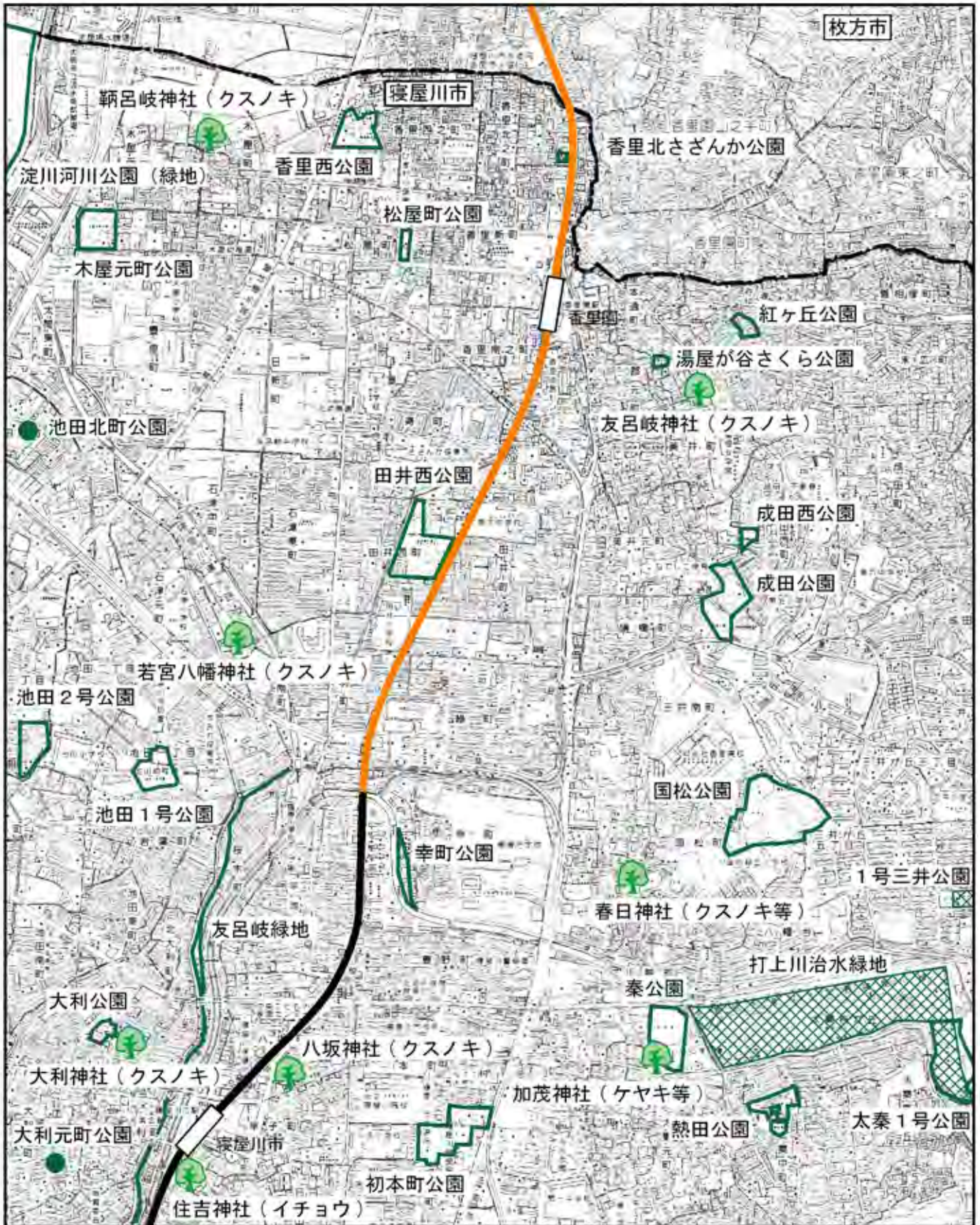






図 6.8.1 公園緑地、保存樹林、散策コース分布図（枚方市）



凡 例

	都市計画公園・緑地		保存樹・保存樹林
	その他公園		対象事業実施区域

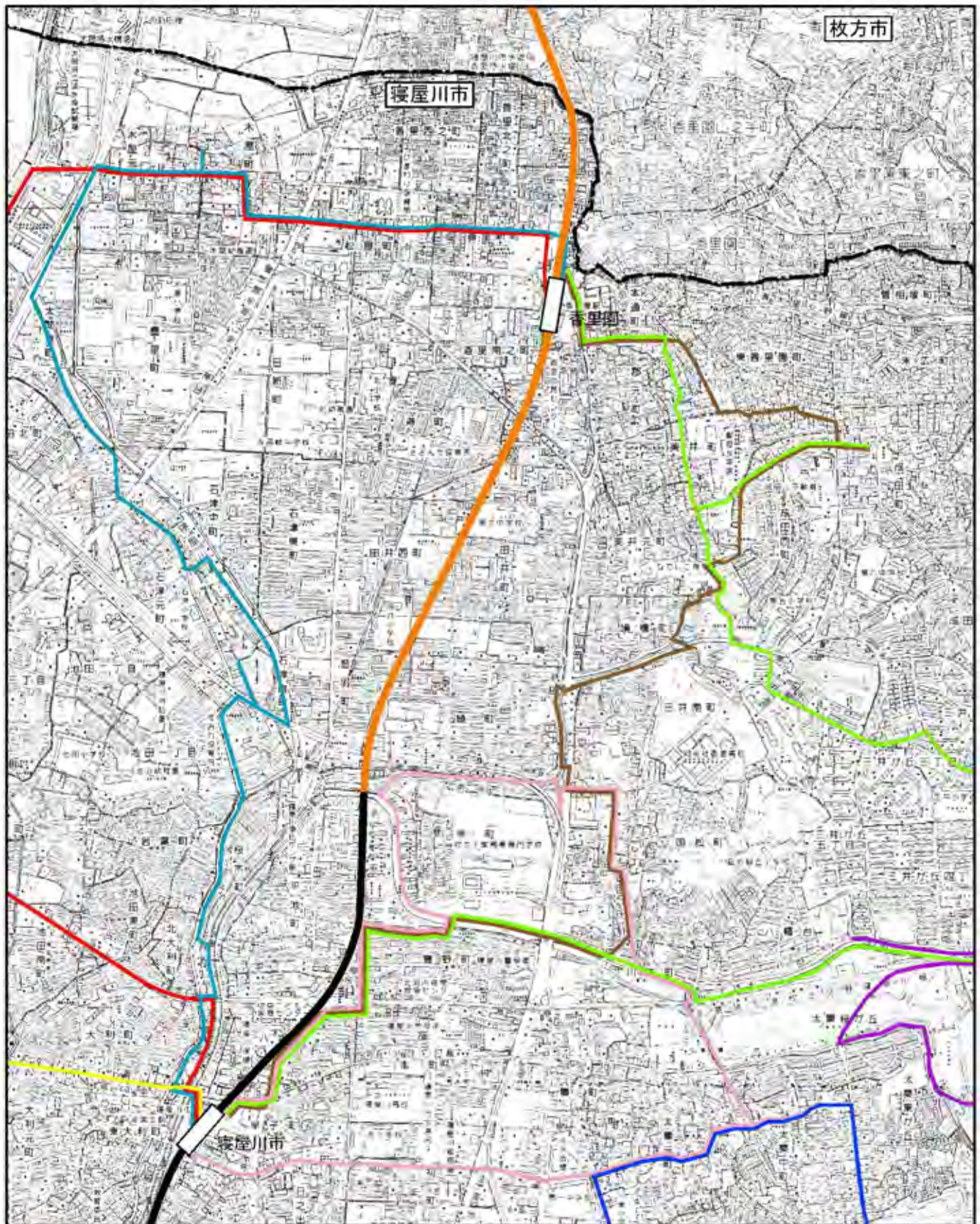
資料：「寝屋川市都市計画図」(寝屋川市)、「保存樹指定一覧表」(寝屋川市ウェブサイト)より作成

N

1 : 15,000

0 100 200 300 400 500m

図 6.8.2 公園緑地、保存樹林 (寝屋川市)



凡 例

- 散策コース(淀川)
- 散策コース(水路巡り)
- 散策コース(大楠)
- 散策コース(弘法井戸)
- 散策コース(みどりの道)
- 散策コース(椎の森)
- 散策コース(鉢かづき姫伝説)
- 散策コース(高宮麿寺)
- 対象事業実施区域

資料：「寝屋川市都市計画図」(寝屋川市)、文化と歴史の道コース一覧(寝屋川市ウェブサイト)、「保存樹指定一覧表」(寝屋川市ウェブサイト)より作成



1 : 15,000
0 100 200 300 400 500m

図 6.8.3 散策コース分布図
(寝屋川市)

(2) 改変される場の利用環境と改変の状況

人と自然との触れ合いの活動の場と事業計画との重ね合わせの結果、枚方市では走谷公園、南中振公園が、寝屋川市では香里北さざんか公園、田井西公園の4公園が事業により改変される。そこで、これら4公園の改変区域に着目して、利用環境等の状況を把握した。

(a) 走谷公園

概要 種別：街区公園 面積：0.1ha

利用環境（主要施設） 広場、パーゴラ、ベンチ、遊具、植栽

改変状況

事業により植樹帯の一部が改変される。改変状況は、図6.8.4に示すとおりである（約0.10ha 約0.10ha）。

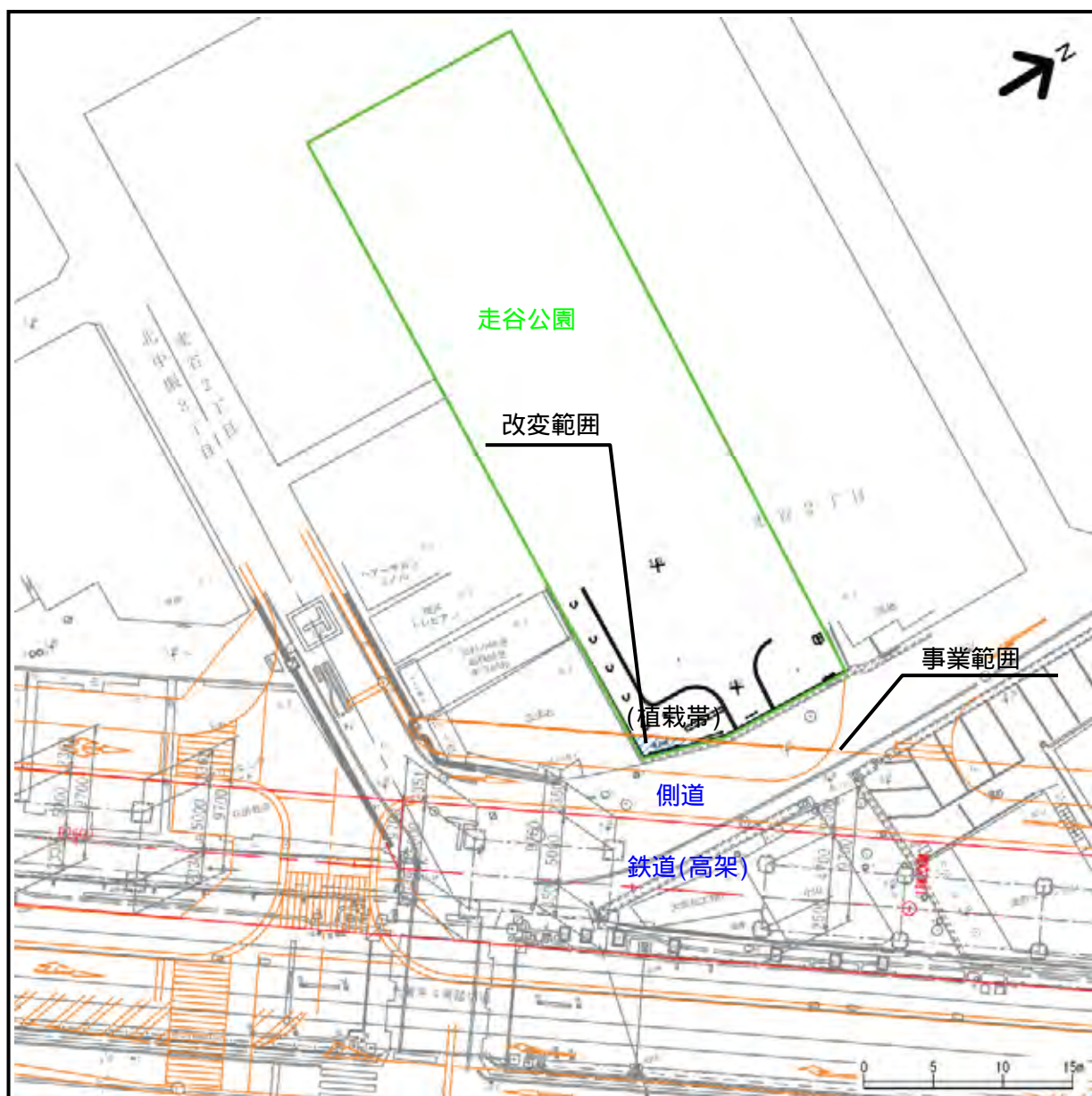


図 6.8.4 走谷公園の改変状況

(b) 南中振公園

概要 種別：街区公園 面積：0.27ha

利用環境(主要施設) 広場、園路、ベンチ、健康遊具、植栽

改変状況

事業により出入口及び広場、園路、植栽帯の一部が改変される。改変状況は、図 6.8.5 に示すとおりである。(約 0.27ha 約 0.25ha)。



図 6.8.5 南中振公園の改変状況

(c) 香里北さざんか公園

概要 種別：街区公園 面積：0.1ha

主要施設 広場、遊具、パーゴラ、植栽

改変状況

事業により植樹帯の一部が改変される。改変状況は、図 6.8.6 に示すとおりである(約 0.10ha 約 0.09ha)。

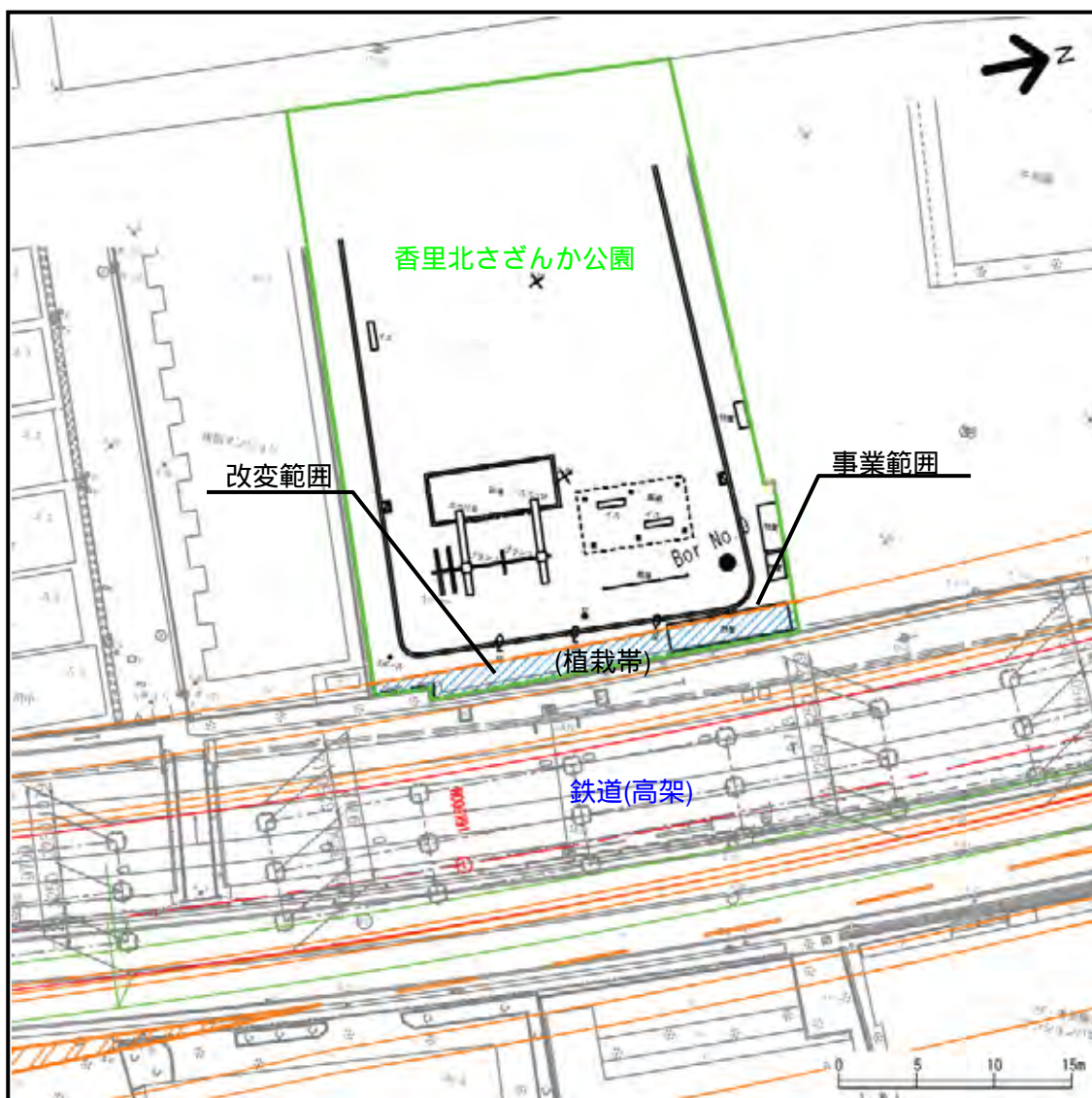


図 6.8.6 香里北さざんか公園の改変状況

(d) 田井西公園

概要 種別：近隣公園 面積：2.1ha

利用環境（主要施設）

テニスコート、ゲートボール場、広場、遊具、パーゴラ、東屋、植栽、便所駐車場、管理棟

改変状況

事業により駐車場、広場、ゲートボール場、テニスコートの一部が改変される。改変状況は、
図 6.8.7 に示すとおりである（約 2.1ha 約 2.0ha）。

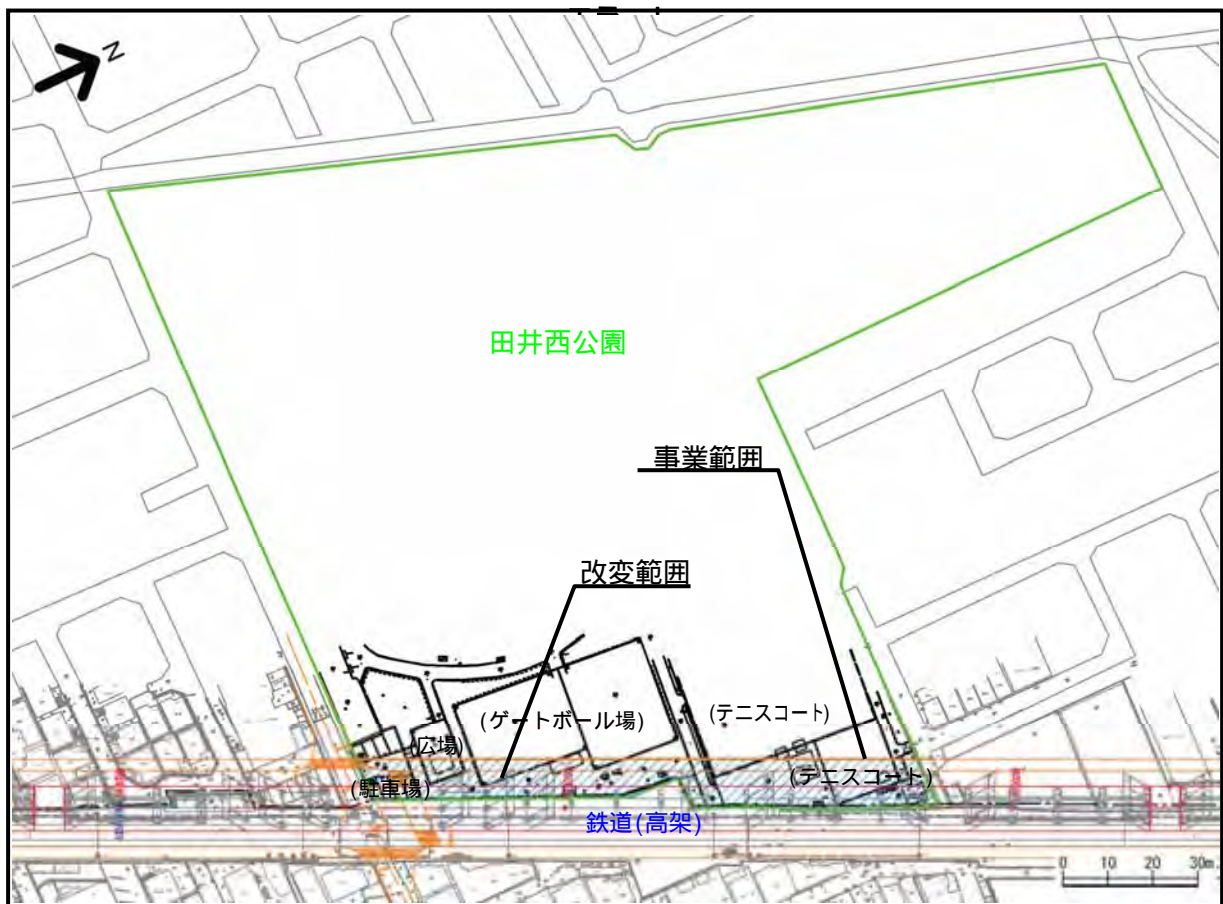


図 6.8.7 田井西公園の改変状況

(3) 利用状況

4公園の利用状況を現地踏査により把握した。

調査実施日 休日：平成22年12月5日(日) 平日：平成22年12月8日(水)

(a) 走谷公園

休日は子供の遊び場としての利用が、平日は散策・休憩の場としての利用が確認された。

走谷公園は、街区公園として近隣の人々による日常的な遊び・散策・休憩の場として利用されているものと考えられる。利用状況は、図6.8.8に示すとおりである。



図6.8.8 走谷公園の利用状況

(b) 南中振公園

休日は散策・遊びの場としての利用が確認され、平日は遊び・休憩・散策の場としての利用が確認された。

南中振公園は、街区公園として近隣の人々による日常的な遊び・散策・休憩の場として利用されているものと考えられる。利用状況は、図 6.8.9 に示すとおりである。



図 6.8.9 南中振公園の利用状況

(c) 香里北さざんか公園

休日は地域の自治会のイベントでの使用が確認され、平日は遊び・運動の場としての利用が確認された。

香里北さざんか公園は、街区公園として地域のイベントや日常的な遊び・運動の場として利用されているものと考えられる。利用状況は、図6.8.10に示すとおりである。



図 6.8.10 香里北さざんか公園の利用状況

(d) 田井西公園

休日はゲートボール場・テニスコートの利用と遊び・休憩の場としての利用が確認された。平日はテニスコートの利用のほか、運動・散策・休憩・遊びの場としての利用が確認された。

田井西公園は、近隣公園として地域の人々の散策・休憩・遊び・運動（テニス、ゲートボール含む）の場として利用されているものと考えられる。利用状況は、図6.8.11に示すとおりである。

なお、テニスコートは平成21年度において、年間約25,000人に利用されている（寝屋川市公園緑地課情報）。



図 6.8.11(1) 田井西公園の利用状況（休日）

平日の利用状況



図 6.8.11(2) 田井西公園の利用状況（平日）

6.8.2 工事の実施（土地の改変）に係る予測及び評価

(1) 予測の概要

土地の改変に伴う人と自然との触れ合いの活動の場の予測の概要は、表 6.8.1 に示すとおりである。

表 6.8.1 土地の改変に伴う人と自然との触れ合いの活動の場の予測の概要

環境影響要因		予測内容	
工事 の 実 施	土地の改変	予測項目	形状の変更に伴う人と自然との触れ合いの活動の場への影響
		予測事項	利用環境の改変の程度
		予測範囲	走谷公園、南中振公園、香里北さざんか公園、田井西公園
		予測時期	建設工事完成後
		予測方法	現在の利用状況及び事業計画をもとに推定する方法

(2) 予測結果

人と自然との触れ合いの活動の場への影響予測は、4つの公園を対象に事業計画と重ね合わせることにより、改変の程度、利用性の変化（利用上の支障の有無、到達時間）、快適性の変化（近傍の風景、雰囲気）の観点から行った。その結果は、表 6.8.2 に示すとおりである。

また、散策ルートについては、事業実施後（鉄道高架後）において鉄道沿い及び鉄道交差ルートが確保されるため影響ないものと予測する。

工事の実施により公園区域の一部を改変することになるが、これらの公園が現在有している機能は回復することを基本方針としている。

表 6.8.2(1) 予測結果（走谷公園）

予測項目	予測結果
活動の場の改変の程度	事業により植栽帯の一部が改変され、公園面積が減少する。改変量は約5㎡であり、公園面積の0.5%である。
利用性の変化の程度	植栽帯の一部に改変が生じるものの、遊び、休憩、散策に利用される場の改変はないため、利用には支障がない。また、公園への到達時間についても道路に面していることから変化がなく、利用性の変化は無いものと予測される。
快適性の変化の程度	植栽帯の一部が改変されるが、面積は小さく公園内の雰囲気に変化は無いものと予測される。しかし、事業により高架構造物や側道が公園に近接することから、公園から認識される近傍の風景が変化し、快適性に変化が生じると予測される。

表 6.8.2(2) 予測結果（南中振公園）

予測項目	予測結果
活動の場の改変の程度	事業により出入口及び広場、園路、植栽帯の一部が改変され、公園面積が減少する。改変量は約160㎡であり、公園面積の6.4%である。
利用性の変化の程度	出入口及び広場、園路、植栽帯の一部に改変が生じ、広場、園路の面積が減少するものの減少面積は小さいため、遊び、休憩、散策の利用には支障がない。また、公園への到達時間については、道路に面していることから変化がなく、利用性の変化は無いものと予測される。
快適性の変化の程度	出入口及び広場、園路、植栽帯の一部が改変されるが、面積は小さく公園内の雰囲気に変化は無いものと予測される。しかし、事業により高架構造物や側道が公園に近接することから、公園から認識される近傍の風景が変化し、快適性に変化が生じると予測される。

表 6.8.2(3) 予測結果（香里北さざんか公園）

予測項目	予測結果
活動の場の改変の程度	事業により植栽帯の一部が改変され、公園面積が減少する。改変量は約50㎡であり、公園面積の5%である。
利用性の変化の程度	植栽帯の一部に改変が生じるものの、地域のイベントや遊び、運動に利用される場の改変はないため、利用には支障がない。また、公園への到達時間についても北側の道路に改変が無い場合、利用性の変化は無いものと予測される。
快適性の変化の程度	植栽帯の一部が改変されるが、面積的に小さく公園内の雰囲気に変化は無いものと予測される。しかし、事業により高架構造物や側道が公園に近接することから、公園から認識される近傍の風景が変化し、快適性に変化が生じると予測される。

表 6.8.2(4) 予測結果（田井西公園）

予測項目	予測結果
活動の場の改変の程度	事業により駐車場、広場、ゲートボール場、テニスコートの一部が改変され公園面積が減少する。改変量は約1,180㎡であり、公園面積の6.9%である。
利用性の变化の程度	公園の到達時間については、新たに南側が道路に面し、その他の周辺道路には変化は無いが、駐車場、広場、ゲートボール場、テニスコートの一部が改変されることから、利用性に变化が生じるものと予測される。
快適性の变化の程度	駐車場、広場、ゲートボール場、テニスコートの一部が改変され、事業により高架構造物や側道が公園に近接することから、公園から認識される近傍の風景が変化し、快適性に变化が生じると予測される。

(3) 評価

(a) 評価の指針

土地の改変に伴う人と自然との触れ合いの活動の場の評価の指針は、表 6.8.3 に示すとおりである。

表 6.8.3 土地の改変に伴う人と自然との触れ合いの活動の場の評価の指針

環境影響要因		評価の指針
工事の実施	土地の改変	人と自然との触れ合い活動の場の保全と整備について十分な配慮がなされていること。 環境基本計画、大阪府環境総合計画、自然環境の保全と回復に関する基本方針等、国又は大阪府が定める環境に関する計画又は方針に定める目標の達成と維持に支障を及ぼさないこと。 自然公園法に定める基準等に適合するものであること。

(b) 評価結果

走谷公園、南中振公園、香里北さざんか公園については、快適性に变化が生じると予測され、田井西公園は利用性、快適性に变化が生じると予測される。しかし、今後、全ての公園において面積の減少や機能の回復、利用者の快適性の確保について、公園管理者と協議し対策を講じることから、利用者への影響が低減されるよう配慮されているものと評価する。

(c) 環境保全措置

土地の改変に伴う人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減するために、以下の環境保全措置を行う。

- 公園面積の減少や機能の回復、利用者の快適性の確保について、利用者への影響が低減されるよう公園管理者と協議し対策を講じる。